

膵臓描出不良、膵尾部描出不良

Point 1 膵臓は胃の後ろ側（背中側）に位置するため、胃や腸管、脂肪などと重なり、腹部超音波での描出が比較的難しいとされています。膵臓全体が描出できないものを「膵臓描出不良」、膵臓の尾部のみ描出できないものを「膵尾部描出不良」としています。

膵臓は胃の後ろ（背中側）に位置する臓器で、癌や炎症などを起こすことがあります。人間ドックでは、身体への侵襲の最も少ない腹部超音波で膵臓の評価を行います。膵臓の全体像が描出できないことも少なくありません。

図1 膵臓の解剖（正面、お腹側から背中側をみています）

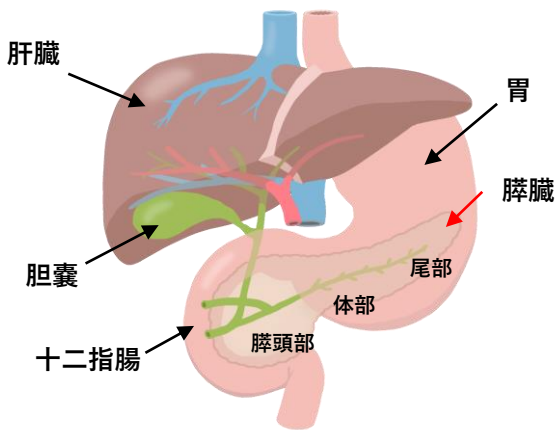


図2 膵臓のCT画像（足側から頭側に見上げています）

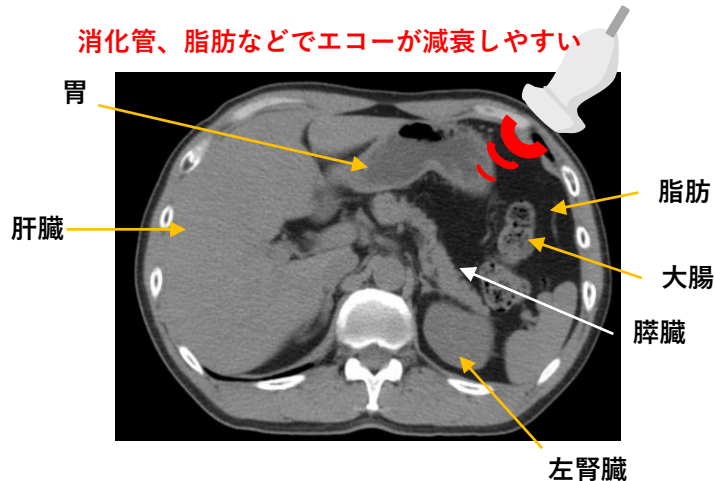
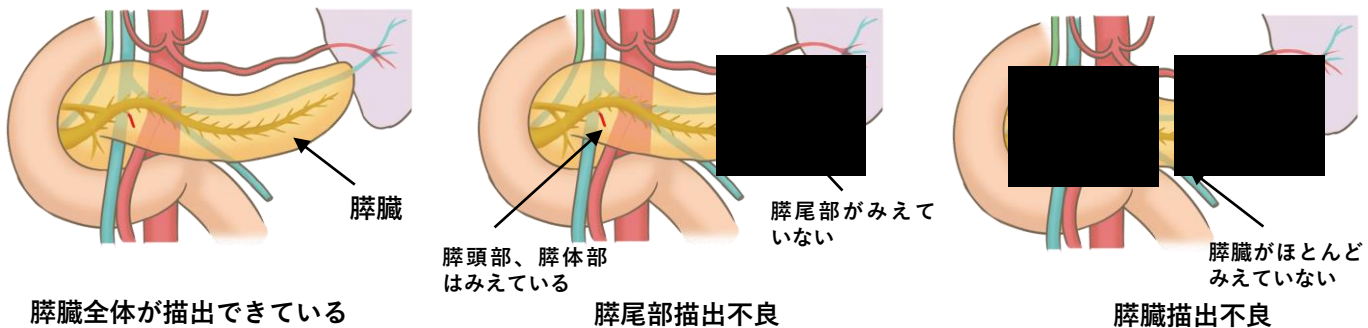


図3 膵臓描出不良のイメージ



Point 2 腹部超音波で膵臓全体が描出できる方は腹部超音波でのフォローを、描出が難しい方は、定期的にCTなど他の検査を受けることを検討して下さい。

- ・腹部超音波できれいに膵臓全体が描出される方（描出不良の所見がついていない方）は、1年に1回の腹部超音波でのフォローアップをお勧めします。
- ・その一方で、腹部超音波で描出が不良な方は、CTやMRIなど別の検査方法で膵臓の評価を行って下さい。
- ・膵臓は早期に癌を発見するのが難しい臓器であり、年に1回程度の定期的な健診を継続することが重要です。